

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： 肝外胆管癌における FDG-PET 検査と術後再発および組織学的悪性度の関連

研究の目的

肝外胆管がん（肝臓の下の胆管に発生する悪性腫瘍）に対する治療は手術が一般的ですが、肝外胆管がんは悪性度が高い腫瘍であり、術後に再発した場合は予後が悪くなります。このような再発リスクの高い腫瘍を詳細に検討するため、本研究では、術前に行われる放射線画像検査の1つである FDG-PET 検査を用いて再発リスクを予測し、がん細胞の悪性度とどのような関係があるのかを検討します。

研究実施期間： 2022年8月26日 ～ 2024年3月30日

対象となる方： 2008年1月～2018年5月までの間、附属病院消化器外科を受診し、肝外胆管がんと診断され、手術を受けられた方。

利用させていただきたい試料・情報について

（他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）

手術で摘出された肝外胆管がんの病理標本、放射線画像、および電子カルテに記載されている臨床情報（がんのステージ、年齢、性別、予後）を標記研究課題実施のために利用します。

具体的には、肝外胆管がんの病理標本を顕微鏡で観察することで、がん細胞がどのくらい増殖能を有しているかを解析し、術前に撮影された放射線画像を照合することで、画像情報とがん細胞の悪性度との関連性を検討します。さらに得られた臨床情報から、術後の再発リスクと画像情報との関係性を検討します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先

弘前大学大学院医学研究科病理生命科学講座 吉澤忠司
電話 0172-39-5029 メール tyoshi@hirosaki-u.ac.jp